



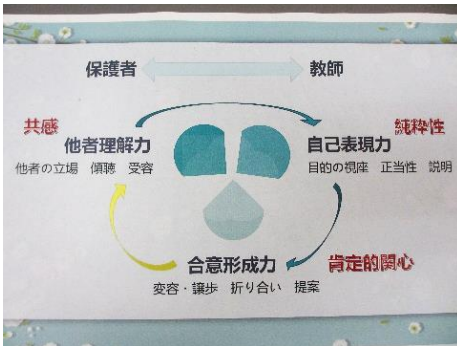
特別支援教育研究会

解決方法を探り支援の改善を図る

今年度の特別支援教育研究会は、「内外での調整力～実際の苦勞を通して～」と題して、健康科学大学健康科学部福祉心理学科（人間コミュニケーション学科）学科長・准教授の鈴木真吾先生にご講義いただきました。



鈴木真吾先生



他者理解力・自己表現力・合意形成力、このサイクルを通して調整力の重要性についてお話しいただ

きました。参加者からは「様々な事例に対して具体的なアドバイスをいただき、抱えている課題を解決するための糸口を見つけることができ、大変ありがたかったです。」という感想が多く聞かれました。先生のご指導により一歩先の対応がみえてくるような有意義な時間を過ごすことができました。

新学習指導要領でも特別支援教育の重要性が強調されています。一部の教員だけでなく全ての教員が理解し、情報を共有する中で、指導や支援を行うことが求められています。

今後、校内での学習会等でさらに深めていってほしいと思います



Jr. (ジュニア) 防災士講座

防災マップ作りや非常食体験などを通して楽しく防災について学びます

Jr. (ジュニア) 防災士の講座 申し込み締め切り 7月16日 (金)

- ・日時 8月2日 (月) 午前9時30分～午後3時00分
- ・対象 小学校4年生～6年生 定員20名
- ・場所 富士河口湖町役場 コンベンションホール
- ・防災についての講習, 防災マップ作り, 非常食体験など

富士河口湖町は、雄大な富士山の麓にある自然豊かな素敵な町です。その一方で富士山噴火、南海トラフ地震、大型台風など自然災害が大変心配になっているところです。

地震や台風の時、どんな危険があるかを知って、自分の命を守る方法を学んでほしいと思っています。このプログラムに参加して防災について学習した小学生は「Jr.防災士として認定」されます。また、作った防災マップは、夏休みの自由研究として認められます。

第1回 外国語教育研究会

～外国語の指導と評価，及び授業づくりについて～

新学習指導要領が，昨年度小学校で，今年度中学校で全面実施されました。特に小学校では外国語が教科化されました。富士河口湖町の小学校では，先行して実施してきましたので，外国語が導入されて4年目を迎えています。更に指導を充実させていくために外国語教育研究会を開催しました。

講師は，富士・東部教育事務所指導主事の三枝幸一先生。「外国語の指導と評価，及び授業づくり」について指導していただきました。



三枝幸一先生

「めざす子どもの姿を明確にする」指導要領をもとにして「何ができるようになってほしいのかをはっきりさせる」つまり「目標」を明確にする。ここから始まる。この目標がなくては評価はできない。【「目標」＝学習内容のひと「まとまり」として示された「領域」＝評価規準。】ゴールイメージとプロセスイメージがしっかりあることが大事。目標によってプロセスはかわる。本気の評価規準が必要。指導と評価の一体化を図る。これらのことは，他教科にも同じことが言える。

今回は，特に評価の在り方を通して学びを深めることができました。講師を務めていただいた三枝先生に心から感謝申し上げます。今後も，教育センターでは，外国語教育の推進や外国語のよりよい授業づくりを追究していくことを目的として研究会を開催していきます。



もうすぐ夏休み

もうすぐ1学期が終わります。コロナ禍とはいえ，いろいろなことにチャレンジする姿や自分の課題達成に向け，一生懸命がんばる姿など子どもたちのたくさんの素敵な姿が見られたことと思います。

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。長い休みですので，生活のリズムをこわさないよう，まずは規則正しい生活（早寝，早起き，朝ご飯）を心がけ，夏休みにしかできないことに挑戦して，楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

しかし，慌ただしく過ごした1学期の疲れやストレスなど，憂うつな気持ちで夏休みを迎える子もいるのではないのでしょうか。普段と違った体験をしたり，学校とは違ういろいろな人と出会ったりすることで日頃のストレスを解消することもできます。子どもたちにとって有意義な夏休みになることを願っております。センターでは，夏休み中も相談は受け付けています。